

環境問題 TOPIC 環境問題について考えてみませんか？

本学は、2003年11月に国際規格である環境マネジメントシステムのISO14001を認証取得し、「東京聖徳学園環境方針」を定めています。

環境行動方針では、「健やかな地球」憲章を遵守することを目指しており、地球を自分の子どものように守り、育む気持ちを持つことができる学生を育成することを課題としています。そのため、「環境論」の授業を開講しています。

この度、「環境論」ご担当の総合文化学科教授 池上夏樹先生から、環境問題についてのトピックと図書館に所蔵がある図書推薦文を寄稿して頂きました。

環境問題について関心を持つとともに、図書館図書をぜひ読んでみてください。

なお、下記に紹介しました8冊は、図書館6階カウンター前の展示コーナーに2月15日(木)まで展示します。

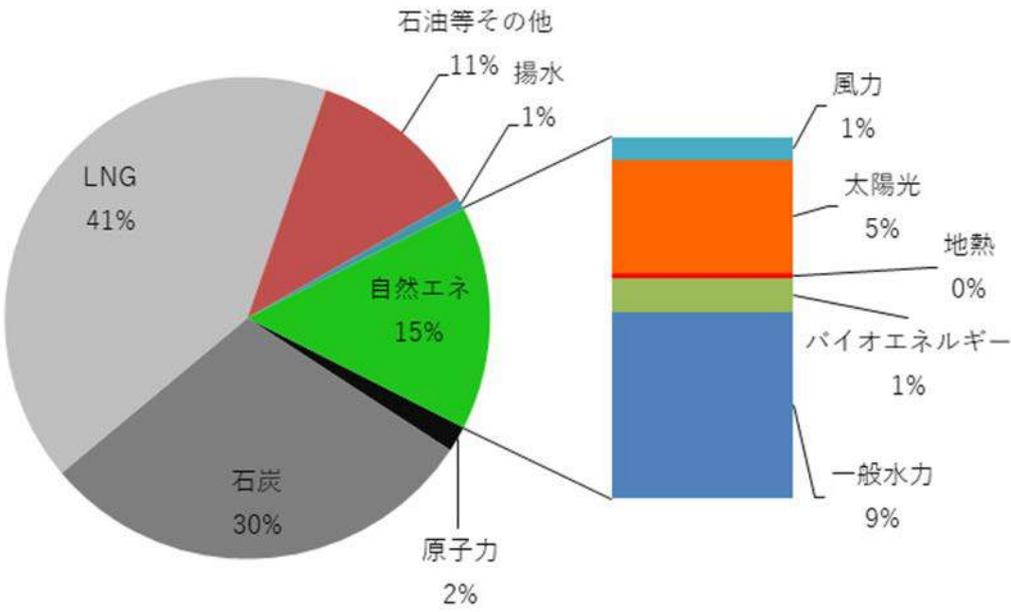
.....

地球の将来を考えてみよう

集中豪雨、干ばつ、大型台風・ハリケーン等の異常気象が今年も世界各地で頻発した。また、地球温暖化、それに伴う海面の上昇や生態系への影響などが環境問題として話題となった。

環境問題の一例として、身近な電気エネルギーの現状を見てみよう。

下図は、経済産業省発表の「電力調査統計」によると、2016年度電源別発電電量内訳である。LNG(41%)、石炭(30%)、石油その他(11%)で、化石燃料による発電割合が8割を超える。しかし、地球温暖化防止のために、二酸化炭素の排出削減が求められている。



そこで、枯渇の心配がなく、環境に優しい再生可能エネルギーを見てみよう。
その割合は、一般水力（9%）、太陽光（5%）、バイオエネルギー（1%）、風力（1%）であり、合計で発電の15%を占める。再生可能エネルギーをさらに普及させるために、再生可能エネルギー固定価格買取制度や再生エネルギー賦課金制度を導入し、新しい産業振興のためにも多様な研究開発を進めている。

以上、電気エネルギー源と状況と関連施策を述べたが、環境問題はエネルギー資源だけでなく、酸性雨、オゾン層の破壊、海洋汚染、砂漠化、ごみ問題、水や食の安全性、有機化学物質の安全性など実に幅が広い。

文科系の学生にあっても地球環境問題は日常生活とも密接に関連し、社会問題への関心を開く扉とも言える。そこで、図書館にある最近出版された環境問題の本を紹介する。

①『環境立国 日本を目指す一パリ協定の実現に向けて一』

著者名 : 暮らしのサーチセンター編集

出版社名 : 暮らしのサーチセンター発行

請求記号 : 519.13/Ka56 (資料 ID 04149769)

発行 : 2016.11

第1部 企業・産業では電力会社、都市ガス会社、鉄道、自動車等代表的な企業の環境問題に対する取組みを解説する。また第2部 行政では経済産業省、環境省、国土交通省、東京都、大阪府の対応策等を解説する。これらの具体例を通して地球温暖化問題に関する諸問題を深めることができる。

②『原発・環境問題と企業責任 環境経営学の課題』

著者名 : 足立辰雄

出版社名 : 新日本出版社

請求記号 : 519.13/A16 (資料 ID 04062353)

発行 : 2014.3

環境経営学とは何か、地球温暖化と企業、原発と企業—東京電力の社会的責任を中心—になどの各章から構成される。事例、図表、データを使用して編集しており、学生の環境問題と環境経営の学習テキストとして薦める。

③『環境の可視化—地球環境から生活環境まで—』

著者名 : 梅干野(ほやの)晁、中村恭志 編

出版社名 : 放送大学教育振興会

請求記号 : 519/H96 (資料 ID 03957799)

発行 : 2015.3

放送大学の教養課程の授業科目「環境の可視化—地球環境から生活環境まで—」の印刷教材として書かれた書で、放送教材と印刷教材の良さがある。①熱環境を表面温度で可視化、②水環境における流れの可視化、③人の入っていけない地盤環境の可視化、④リモートセンシング技術の4テーマを取り上げている。可視化の点が特徴的な図書である。

④『イラスト 私たちと環境』

著者名 : 太田和子、臼井宗一、山中冬彦

出版社名：東京教学社

請求記号：519/I63（資料 ID 13572291）

発行：2015.4

人間と環境、環境問題の歴史、私たちの生活と環境、日本における環境問題、地球規模の環境問題の5章で構成される。身近な問題から地球規模の問題まで幅広い内容を含み、環境問題のメカニズムを豊富な図表を用いてわかりやすく解説する。書名にあるようにイラストがあり、読みやすい。

⑤『地球環境学—複眼的な見方と対応力を学ぶ<京大人気講義シリーズ>』

著者名：京都大学地球環境学堂 編(執筆者 合計21名)

出版社名：丸善出版

請求記号：519/Ky6（資料 ID 03933245）

発行：2014.2

第Ⅰ部では地球環境問題をどのように捉えるかについて6章にわたり、第Ⅱ部では環境変化にどのようにつきあうかについて8章にわたり、第Ⅲ部では自然災害への適応力をどのように高めるかを3章にわたり、それぞれ解説する。

⑥『生活環境学 改訂版』

著者名：岩田利枝、上野佳奈子、高橋達、二宮秀典、光田恵、吉澤望

出版社名：井上書院

請求記号：519/Se17（資料 ID 13538000）

発行：2015.7

日ごろに感じる生活環境問題を解明していく過程で人間の特性や物理現象の基礎を学ぶように構成されている。生活環境学の概要を説明するとともに、音環境、空気環境、水環境、廃棄物（ごみ）など生活環境学という新しい分野の展開、可能性を意識して作られた教科書である。

⑦『グラフィック 環境経済学』

著者名：浅子和美、落合勝昭、落合由紀子

出版社名：新世社

請求記号：519/G95（資料 ID 04006860）

発行：2015.2

環境問題とは何か？ 環境問題はどこから起こる？ 環境問題にどう対処する？ 環境問題を評価する、ごみ問題を考える、公害と環境破壊、エネルギーと環境、地球環境問題と持続可能性、地球に優しく生きるなどの章から成る。書名とおり、見開きの右側のページは図解、グラフ、イラスト、写真などであり、左側の関連事項をわかりやすくまとめた内容、補完する内容となっている。

⑧『都市環境学 第2版』

著者名：都市環境学教材編集委員会(27名の編集委員が執筆)

出版社名：森北出版

請求記号：518.8/To72（資料 ID 04058860）

発行：2016.6

第Ⅰ部 自然と共生した都市環境では都市型社会の到来、ヒートアイランド、都市の

大気汚染、都市防災などを解説。第Ⅱ部 インフラストラクチャー整備と都市環境では都市のエネルギー供給システム、水供給システム、廃棄物処理システムを解説。第Ⅲ部 まちづくりの事例と都市環境整備ではまちづくりの事例と環境整備を解説する。都市環境という広い分野をコンパクトにまとめた教材であり、当該関連分野向けの書である。

以上